

2025

3 年生 シラバス

令和 7 年度 上尾市立瓦葺中学校

AGEO MUNICIPAL KAWARABUKI JUNIOR HIGH SCHOOL

国語【第3学年】

1 国語の学習で目指すこと（到達目標）

社会生活に必要な国語の知識や技能を身につけ、論理的に考える力や深く共感する力を養うことが目標である。そうして身に付けた力が、人と人との関わりの中で発揮され、良好な人間関係が築けるような生徒に育ってくれることを願っている。3年生では、高校受験も念頭に置いて、学力検査に対応する力をつけることも大きな目標である。

2 授業に関する注意事項

使用教材	○教科書 「国語3」（光村図書） ○副教材 「漢字の学習」「文法練習ノート」 「積み上げ国語」 「国語便覧」「級別漢字クラブ」	持ち物等	○教科書および副教材 ○国語専用のノート（各自で用意する） ○紙ファイル（教材費で購入する） ○書写の道具（各自で用意する）
学習の進め方	・予習をして授業に臨む。（あらかじめ教科書を音読しておくだけでも効果がある） ・授業に積極的に参加する。（進んで発言する／工夫したノートを作る／質問をしてみる） ・漢字の読み書きや文法の副教材を繰り返し活用する。（語彙力の向上） ・授業の後は復習する。（テスト前だけでなく、普段から家庭学習をするように努める） ※古典に親しむことをねらいとして、「百人一首」の学習を取り入れている。		

3 授業計画、評価の観点及び評価方法

月	学習活動	評価規準		評価方法
4	単元名 1 深まる学びへ	知識・技能	・漢字の読み書きができる。	・定期テスト ・漢字小テスト ・古典の暗唱 ・作品 （硬筆／書道）
5	2 視野を広げて		・語句、漢字を的確に使える。	
6	○書写（硬筆）仮名と行書		・文法について理解している。	
7	3 言葉とともに	思考・判断・表現	・敬語を正しく使える。	・定期テスト ・発言や発表 ・作品（作文）
9	○夏休みの宿題（作文）		・文字を丁寧に正しく書ける。	
10	4 状況の中で		・古典をすらすらと読める。	
11	5 自らの考えを	主体的に学習に取り組む態度	・古典の知識を身につけている。	・国語ファイル ・ノート ・提出物の取組 ・授業の取組
12	6 いにしえの心を受け継ぐ		・情報を的確に聞き取れる。	
1	7 価値を生み出す		・目的や場面に応じてきちんと発言、発表できる。	
2	○書写（書き初め）行書		・叙述に沿って文章を読み取り正しく受け止められる。	
3	8 未来に向かって		・目的や相手に応じてわかりやすい文章を書ける。	
3	○学力検査対策 ○3年間のまとめ		・意欲的に取り組んでいる。	
			・学習課題に沿って、粘り強く努力している。	
			・これまで学習したことを、生かそうとしている。	
			・周囲と協調し、言葉を伝え合おうとしている。	

社会【第3学年】

1 社会の学習で目指すこと（到達目標）

広い視野に立って、社会に対する関心を高め、諸資料に基づいて多面的・多角的に考察し、我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を深め、公民としての基礎的教養を培い、国際社会に生きる平和で民主的な国家・社会の形成者として必要な公民的資質の基礎を養う。

2 授業に関する注意事項

使用教材	○教科書 新しい社会 歴史（東京書籍） 新しい社会 公民（東京書籍） 中学社会科地図（帝国書院） ○副教材 歴史資料集（浜島書店） 公民資料集 2025（浜島書店） ワーク：歴史（明治図書）公民（新学社） ※歴史は昨年からと同一の物 単元プリント：学習の達成	持ち物等	○教科書 ○ノート ○資料集 ○地図帳 ○ファイル ○筆記用具 ○のり
学習の進め方	○单元ごとに設定された学習課題を意識し、課題解決に対して主体的に取り組む。 ○疑問に思うことや資料や図、発問に対して「考える」という時間を大切にし、自分の考えを持って学習内容に臨む。 ○少人数班やペアワーク等の活動を通して、多面的・多角的視点から捉える。 ○振り返りを学習用端末を使用して入力し、自分の言葉で表現する。 ○ワークを活用し、復習することで定着をはかる。		

3 授業計画、評価の観点及び評価方法

月	学習活動	評価規準		評価方法
4	歴 二度の世界大戦と日本	知識・技能	【知識・技能】 ○世界の歴史を背景にして日本の歴史の大きな流れを理解している。 ○個人と社会との関わりを中心に、現代社会及び国際関係、民主主義、民主政治の意義、国民の生活の向上と経済活動などについて理解している。 ○諸資料から様々な情報を効果的に調べている。	・定期テスト ・单元テスト ・小テスト ・観察 ・レポート ・ワークシート
5	歴 現代の日本と社会			
6	公 私たちの生活と現代社会 現代社会とわたしたちの生活			
7	公 人間の尊重と日本国憲法 人権と日本国憲法 人権と共生社会 これからの人権保障	思考・判断・表現	【思考・判断・表現】 ○社会的事象の相互の関連や現在とのつながりなどに着目して多面的・多角的に考察している。 ○歴史や社会に存在する課題を把握し複数の立場や意見を踏まえて後世に選択・判断したりする力、思考・判断したことを説明している。 ○自分が考察したことや、思考・判断したことを基に、議論している。	・定期テスト ・单元テスト ・小テスト ・観察 ・レポート ・ワークシート
9	公 現代の民主政治と社会 現代の民主政治 国の政治のしくみ 地方の政治と自治			
10	公 わたしたちの暮らしと経済 暮らしと経済 生産と労働 価格の働きと金融 国民生活と福祉			
11		主体的に学習に取り組む態度	【主体的に学習に取り組む態度】 ○歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。 ○国家及び社会の担い手として、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。	・観察 ・レポート ・ワークシート
12				
1				
2				
3	公 私たちの生活と現代社会 わたしたちの生活と文化 現代社会の見方や考え方			

数学【第3学年】

1 数学の学習で目指すこと（到達目標）

- 基礎的な概念や原理・法則などを理解すると共に数学的に解釈、表現・処理したりする技能を身につける。
- 学習において、考察する力をつけ、粘り強く考え、数学を生活に生かそうとする態度を身につける。
- 問題解決において、その過程を振り返り評価し、多様な考えを認め、よりよく問題解決をしようとする。

2 授業に関する注意事項

使用教材	○教科書 「未来へひろがる数学3」（啓林館） ○副教材 「新しい数学 実力アップ（東京書籍）」 「埼玉県予想問題（模擬テスト）」	持ち物等	○教科書 ○数学専用のノート ○ファイル ○学校で配布した問題集 ○三角定規セット ○コンパス ※これ以外は授業の前日までに連絡します。
学習の進め方	○单元ごとに、導入問題を自分で考え、数学用語を使って説明したり、仲間の意見を聞き思考を深めたりする。その日の学習内容を仲間と確認した上で、振り返りを行う。 ○疑問に思うこと、「考える」という時間を大切に、自分の考えを持って学習内容に臨む。 ○先生や仲間の話、発表を聞き、多様な数学的な考え方を習得する。 ○考え方が振り返られるように途中の式や考えを記述する。 ○ワークを活用し、繰り返し復習することで定着をはかる。		

3 授業計画、評価の観点及び評価方法

月	学習活動	評価規準		評価方法
4	1章 式の展開と因数分解 1. 式の乗法、除法 2. 乗法の公式 3. 因数分解 4. 式の計算の利用	知識・技能	・数の平方根、多項式と二次方程式、図形の相似、円周角と中心角の関係、三平方の定理、関数 $y = ax^2$ 、標本調査などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解している。	・定期テスト ・授業態度 ・振り返りカード ・テスト直しレポート ・提出物
5			・事象を数値化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。	
6	2章 平方根 1. 平方根 2. 平方根の値 3. 有理数と無理数 4. 根号を含む式の計算 5. 平方根の利用	思考・判断・表現	・数の範囲に着目し、数の性質や計算について考察したり、文字を用いて数量の関係や法則などを考察したりする力、図形の構成要素の関係に着目し、図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力、関数関係に着目し、その特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力、標本と母集団の関係に着目し、母集団の傾向を推定し判断したり、調査の方法や結果を批判的に考察する力を身に付けている。	・定期テスト ・授業態度 ・振り返りカード ・テスト直しレポート ・提出物
7			・レポート等での記述や、学習態度、授業への取り組みや姿勢など全般に積極的に取り組んでいる。	
9	3章 二次方程式 1. 二次方程式とその解き方 2. 二次方程式の解の公式 3. 二次方程式と因数分解	主体的に学習に取り組む態度	・数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとしたり、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとしたり、多様な考えを認め、よりよく問題解決しようとしている。	・定期テスト ・授業態度 ・振り返りカード ・テスト直しレポート ・提出物
10	4章 関数 $y = ax^2$ 1. 関数 $y = ax^2$ 2. 関数 $y = ax^2$ のグラフの変化の割合 3. 関数 $y = ax^2$ の利用 4. いろいろな関数の利用			
11	5章 図形と相似 1. 相似な図形 2. 平行線と線分の比 3. 相似な図形の面積と体積 4. 相似の利用			
12	6章 円の性質 1. 円周角と中心角 2. 円周角の定理の逆 2. 円周角の利用			
1	7章 三平方の定理 1. 三平方の定理 2. 三平方の定理の利用			
2	8章 標本調査とデータの活用 1. 標本調査の方法 2. 母集団と標本の関係 3. データを活用して、問題を解決しよう			
3	3年間のまとめ			

理科【第3学年】

1 理科の学習で目指すこと（到達目標）

自然の事物・現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、自然の事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を身に付ける

2 授業に関する注意事項

使用教材	○教科書 自然の探究 中学理科 3（教育出版） ○副教材 理科資料集 埼玉県版（とうほう） 毎日の復習（正進社）	持ち物等	○教科書 ○ノート ○ファイル ○資料集 ○ワーク
学習の進め方	○单元ごとに、学習内容の本質についての「学習前の考え」を持つ。 ・「学習後の考え」を整理してまとめ、学習前と後での考え方のちがいをとらえる。 ○疑問に思うこと、「考える」という時間を大切にし、自分の考えを持って学習内容に臨む。 ・授業の中でメモをとりながら、その授業で一番大切なことは何だったかをとらえられるようにする ○適宜実験を行い、自分の目で確かめる。 ・積極的に授業に参加し、実験や観察では注意事項に気をつけ、安全に取り組む。		

3 授業計画、評価の観点及び評価方法

月	学習活動		評価規準		評価方法
4	化学変化とイオン	生命の連続性	知識・技能	事物・現象についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	・定期テスト ・レポート ・技能テスト
5	1章	1章 生物の成長と殖え方			
6	2章	2章 遺伝の規則性			
7	酸・アルカリとイオン	3章 生物の種類の多様性と進化	思考・判断・表現	事物・現象から問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。	・ポートフォリオ ・定期テスト ・レポート
9	3章				
10	電池とイオン				
11	運動とエネルギー	地球と宇宙	主体的に学習に取り組む態度	事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	・ポートフォリオ ・授業態度 ・レポート ・テスト直し
12	1章 力の規則性	1章 天体の1日の動き			
1	2章 力と運動	2章 天体の1年の動き			
2	3章 仕事とエネルギー	3章 月や惑星の動きと見え方			
3	4章 エネルギーの移り変わり	4章 太陽系と恒星			
	自然環境や科学技術と私たちの未来	自然環境や科学技術と私たちの未来			
	4章	1章			
	エネルギー資源の利用と私たち	生物と環境との関わり			
	5章	2章			
	科学技術の発展と私たち	自然環境と私たち			
	終章	3章			
	科学技術の利用と自然環境の保全	自然災害と私たち			

音楽【第3学年】

1 音楽の学習で目指すこと（到達目標）

- ・歌詞の内容や曲想を味わい、表現したい思いや意図をもって曲にふさわしい表現の工夫を身に付ける。
- ・声部の役割と全体の響きとの関わり合いを理解して、表現できる力を身に付ける。
- ・多様な音楽に対する理解を深め、幅広く鑑賞する能力を身に付ける。

2 授業に関する注意事項

使用教材	○教科書 「中学生の音楽2・3年の下・器楽」 (教育芸術社) ○コーラスフェスティバル	持ち物等	○教科書 ○音楽ファイル ○コーラスフェスティバル ○アルトリコーダー ○筆記用具
学習の進め方	・課題（本時のねらい）の把握 ・説明（教科書やICTを使用し、活動内容を理解する） ・課題解決の取り組み（グループ活動、技能練習） ・振り返り、まとめ（自己評価）		

3 授業計画及び評価の観点及び評価方法

月	学習活動	評価規準		評価方法
4	・ガイダンス	知識・技能	・歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付けている。 ・楽器を演奏するために必要な楽器の特性（知識）や技能を身に付けている。	・活動時観察 ・振り返りシート ・相互評価 ・実技テスト ・筆記テスト
5	・能			
6	・花 ・花の街 ・帰れソレントへ			
7	・合唱祭に向けた取り組み	思考・判断・表現	・歌詞の意味を考え、意味に合った歌い方ができる。 ・音楽を通して感じたことを音楽を形づくっている要素等を使って根拠をもって説明したり演奏に繋げたりすることができる。	
8	合唱			
9	・アルトリコーダー			
10	・ギター	主体的に学習に取り組む態度	・音楽活動を楽しみながら仲間と協力して意見や考えを述べて学習活動に取り組もうとしている。 ・振り返りシートで本時の目標と自分を照らし合わせて学習内容を振り返ることができる。	
11	・ブルタバ（モルダウ）			
12	・創作 ・ポピュラー音楽			
1				
2	・世界の諸民族音楽			
3	・卒業式に向けた取り組み			

美術【第3学年】

1 美術の学習で目指すこと（到達目標）

- ・造形的な視点について理解するとともに、表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができる。
- ・主題を生み出し豊かに発想して構想を練り、美術や美術文化に対する感じ方を深めることができる。
- ・創造活動の喜びを味わい、主体的に学習活動に取り組むことができる。

2 授業に関する注意事項

使用教材	○教科書 「美術2・3上下」(日本文教出版) ○副教材 「美術資料」(秀学社)	持ち物等	○教科書 ○スケッチブック ○筆記用具	○資料集 ○アクリル絵の具
学習の進め方	・課題（本時の目標）の把握。 ・説明（教科書や板書、参考作品、大型モニター等を見ながら）を受け、活動内容を理解する。 ・取組（作品制作・鑑賞活動・小グループでの話し合い活動） ・自己の学習の振り返り。（成果と課題等を把握） ・後片付け			

3 授業計画、評価の観点及び評価方法

学習活動		評価規準		評価方法	
4	・オリエンテーション ・自分探しの旅 ・日本美術（京都・奈良）の鑑賞 ※修学旅行 ・そっくりアート ・お世話になった人へ贈ろう ・美術を身近なものに（鑑賞）	知識・技能	・対象や事象を捉える造形的な視点について理解している。 ・表現方法を創意工夫し、創造的に表している。	・行動観察 ・作品 ・ワークシート ・実技テスト（定期テスト） ・提出物 ・アイデアスケッチ ・鑑賞プリント ・メッセージカード ・忘れ物	
5			思考・判断・表現		・造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、美術の働きについて考えている。 ・主題を生み出し豊かに発想し構想を練っている。 ・美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めている。
6		主体的に学習に取り組む態度			・美術の創作活動の喜びを味わい主体的に表現及び鑑賞の幅広い学習活動に取り組もうとしている。
7					
9					
10					
11					
12					
1					
2					
3					

保健体育【第3学年】

1 保健体育の学習で目指すこと（到達目標）

- ・運動の合理的な実践を通して運動の楽しさや喜びを味わう。
- ・運動を適切に行うことにより、運動や体力の必要性について理解するとともに、基本的な技能を身に付ける。
- ・運動についての自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて考え判断するとともに、考えたことを他者に伝える力を養う。
- ・運動における競争や協働の経験を通して公正・協力・責任・共生の意欲を育てると共に健康安全に留意し、自己の最善を尽くして運動する態度を育てる。

2 授業に関する注意事項

使用教材	○ステップアップ中学体育（大修館） ○中学保健体育（大修館）	持ち物等	・教科書 ・ファイル ・筆記用具
学習の進め方	・チャイムが鳴ったとき、活動場所に集合・整列完了。 ・健康観察、準備運動（みんなに聞こえる声で号令をかけ、準備運動・ランニングなどをする） ・課題（本時のねらい）の把握、よい動きの理解 ・課題解決（ねらい達成）、よい動きの獲得のために活動（仲間と教え合い、協力して活動すること） ・自己や仲間の学習の振り返り（成果と課題等を把握し、次の目標をもつ） ※ケガで運動ができない場合は、できること（教え合い、アドバイスの援助、仲間の振り返り）に取り組む。		

3 授業計画、評価の観点及び評価方法

月		学習活動	評価規準		評価方法
4	5	・体づくり運動	知識・技能	・運動の特性や技の名称等を理解している。 ・各領域の運動の特性に応じた基本的な技能を身に付けている。 ・保健や体育理論の内容について理解できている。	・活動時観察 ・学習カード ・相互評価 ・実技テスト ・単元テスト
6	7	・新体力テスト ・水泳（クロール・平泳ぎ・背泳ぎ・バタフライ） ・陸上競技（走り幅跳び） ・器械運動（マット運動） } 選択			
9	10	・保健（健康と環境）	思考・判断・表現	・単元の特性やねらいを理解し、自己や仲間の課題を見つけ、合理的に解決できるように課題や目的に応じて工夫している。 ・自己や仲間の課題や解決に向けて、自己の考えたことを他者に伝えている。	
11	12	・球技「ネット型」（バドミントン） ・球技「ベースボール型」（ソフトボール） } 選択			
1	2	・保健（健康な生活と疾病の予防） ・陸上競技（長距離走） ・ダンス（現代的なリズムのダンス） ・武道（柔道） } 選択	主体的に学習に取り組む態度	・各運動に対して積極的に取り組もうとしている。 ・準備や片付け、学習上の仕事分担などの自己の役割を果たす。（責任） ・仲間の学習を援助（教え合い）しようとしている。（協力） ・ルールやマナーを守ろうとしている。（公正） ・一人一人の違いに応じた課題や挑戦を認めようとしている。（共生） ・健康、安全に気を配っている。	
3		・体育理論（文化としてのスポーツの意義） ・球技「ゴール型」（アルティメット） ・球技「ネット型」（卓球） ・保健（健康な生活と疾病の予防） } 選択			

技術・家庭〔技術分野〕【第3学年】

1 技術・家庭〔技術分野〕の学習で目指すこと（到達目標）

技術の見方・考え方を働かせ、ものづくりなどの技術に関する実践的・体験的な活動を通して、技術によってよりよい生活や持続可能な社会を構築する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

2 授業に関する注意事項

使用教材	○教科書 「技術・家庭〔技術分野〕」（開隆堂）	持ち物等	○教科書 ○ハンドノートD ○プリント ○クロームブック ○筆記用具 ○制服 ○マイクロビット ○その他必要なもの
学習の進め方	<授業スタイル> 『説明・解説を聞く』『考えてみる（調べてみる・話し合ってみる）』『体験してみる（設計・製作してみる）』の時間を明確に分け展開していく。提出物は原則クラスルームの課題提出で行う。 <場 所> 技術室		

3 授業計画、評価の観点及び評価方法

月	学習活動	評価規準		評価方法
4～9	「情報の技術」 - 生活や社会と情報の技術 - 情報とコンピュータ1 - 計測・制御による問題解決 - 情報とコンピュータ2 - 情報の表現と伝達 - 情報モラル - 双方向性のあるコンテンツによる問題解決 - これからの情報技術 - 発展学習	知識・技能	生活や社会で利用されている技術について理解しているとともに、それらに係る技能を身に付け、技術と生活や社会、環境との関わりについて理解している。	- 定期テスト - レポート - ハンドノート - ワークシート - 確認テスト - 製作品 - 観察
		思考・判断・表現	生活や社会の中から技術に関わる問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	- 定期テスト - レポート - ハンドノート - ワークシート - 確認テスト - 製作品 - 観察
		主体的に学習に取り組む態度	よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、技術を工夫し創造しようとしている。	- 定期テスト - レポート - ハンドノート - ワークシート - 確認テスト - 製作品 - 観察

技術・家庭〔家庭分野〕【第3学年】

1 技術・家庭〔家庭分野〕の学習で目指すこと（到達目標）

- 生活と技術についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。 - 生活や社会の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、表現するなど、課題を解決する力を養う。 - よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。
--

2 授業に関する注意事項

使用教材	○教科書 「技術・家庭〔家庭分野〕」（開隆堂）	持ち物等	- 教科書 ・ファイル ・ワークノート 2冊 - 裁縫道具・三角巾 - エプロン
学習の進め方	- 課題の把握（自ら課題を発見する） - 説明（教科書やノートを使用し、使用方法やはたらきを理解する） - 取組（ペア活動、グループ活動） - まとめ（自己評価、学級評価を行う）		

3 授業計画、評価の観点及び評価方法

月	学習活動	評価規準		評価方法
4 月	わたしの成長と家族	知識・技能	家族・家庭の基本的な機能について理解を深め、生活の自立に必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて理解しているとともに、それらに係る技能を身に付けている。	・ 観察 ・ プリント ・ 製作物 ・ レポート ・ 単元試験 ・ 実技テスト
5 月	幼児の生活と遊び			
6 月	幼児の心と体の発達			
7 月	持続可能な食生活①			
9 月	子どもの成長と家族・地域の役割	思考・判断・表現	これからの生活を展望し、家族・家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	
10 月	幼児の遊びと発達			
11 月	幼児の遊びを支える 幼児とのふれあい(DVD)			
12 月	持続可能な食生活②			
1 月	これからのわたしと家族			
2 月	卒業制作	主体的に学習に取り組む態度	家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。	

外国語（英語）【第3学年】

1 外国語（英語）の学習で目指すこと（到達目標）

既習事項を運用し、聞き手や読み手を意識して自分の思いや考えを即興で語ったり書いたりする力を身に付ける。

2 授業に関する注意事項

使用教材	○教科書 「SUNSHINE ENGLISH COURSE 3」 (開隆堂) ○副教材 ジョイフルワーク③、Wプリント	持ち物等	○教科書 ○ノート ○ワーク (ジョイフルワーク③) ○ファイル
学習の進め方	○単語力を高める。 「見る」「読む」「書く」等を繰り返す。 ノートに書いて満足しないように。 ○文法を理解する。 「授業で理解する」→「重要表現の例文を1つ覚える」→「問題を解く」→「間違いを見直す」 ○読解力と聞き取る力を高める。 「読む(意味がわかる)」→「できる限り速く読む」日本語で考えずとも理解できるようになるまで。 ○表現力(話す力・書く力)を高める。 「SVを意識し、学んだ単語や文法を用いて書く・相手に伝える」回数を増やす。 自分だけでは適切な英文が確認できないので、ALTや先生と確認する。 授業でも家庭学習でも英語をなるべく多く使用する。 ☆その他 教科書の本文を音読・暗唱・筆写する。ワークに繰り返し取り組む。英語の歌を歌う。 ※「読める(意味がわかる)」→「すらすらと読める」→「問題を解く」「書く」の順番		

3 授業計画、評価の観点及び評価方法

月	学習活動	評価規準		評価方法
4	・Program1 「ask～(人) to... / It's ～ (for+人) to... / 現在完了形(経験)	知識・技能	外国語の音声や文字、語彙、表現、文構造、言語の働きなどの知識を理解しているか。 また、その知識を聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる基礎的な技能を身に付けているか。	・単語テスト ・文法テスト ・リスニングテスト ・ワークシート ・定期テスト
5	・Program2 現在完了形(完了、継続)			
6	現在完了進行形 「聞き上手になろう」			
7	・Program3 tell+人+that call+目的語 +補語 make+目的語+動詞の原形 「電車の乗換案内」「ポスターセッション」「Our Project」	思考・判断・表現	目的、場面、状況などに応じて、身近で簡単な事柄について聞いたり話したりして、自分の考えや気持ちを伝え合えるか。 また、音声で十分に慣れ親しんだ外国語の語彙や基本的な表現を推測しながら読んだり、語順を意識しながら書いたりして、自分の考えや気持ちなどを伝え合えるか。	・ワークシート ・パフォーマンステスト ・作文 ・定期テスト
9	・Reading「The Meaning of Life」			
10	・Program4 分詞の後置修飾 間接疑問文 ・Program5 関係代名詞(主格) 「ポスターの読み取り方」			
11	「ディスカッション」 ・Program6 関係代名詞(目的格) 省略 「レストランにSDGsの取組を提案」	主体的に学習に取り組む態度	外国語に対する理解を深め、他者に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしているか。 また、知識及び技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりするために、自らの学習状況を把握し、学習の進め方について試行錯誤するなど、自らの学習を調整しながら学ぼうとしているか。	・観察 ・ワークシート ・パフォーマンステスト ・コミュニケーション活動
12	「ラジオCMを聞こう」 ・Program7 仮定法過去			
1	「ウェブサイトで学校紹介」			
2	Reading 「Malala's Voice for the Future」 ・Further Reading 「長文読解、英作文練習 入試問題・リスニング等」			

特別な教科 道徳【全学年】

1. 特別な教科 道徳とは

道徳教育は、児童生徒が人間としての在り方を自覚し、人生をよりよく生きるために、その基盤となる道徳性を育成しようとするものである。

「道徳」の時間（年間 35 単位時間）を要として、各教科、外国語活動、総合的な学習の時間、特別活動のそれぞれの特質に応じて、学校の教育活動全体を通じて行う。

「特別の教科 道徳」は、日常生活において様々な場面でどのように行動すればよいのか、どのように対応すればよいのかに関心を向けつつ、どうしてそのことが必要なのか、どうしてそのようなことが起こるのかについて深く考え、その視点から自らを見つめ、課題を見出し追究していこうとする心を育てることが中心となる。

2. 授業に関する注意事項

使用教材	○教科書 「中学生の道徳 明日への扉」(学研) ○埼玉県道徳教育教材資料集 「彩の国 道徳」(埼玉県教育委員会)
持ち物等	○教科書 ○ファイル

3. 道徳科で学ぶ「22の道徳的価値」

道徳教育の目標を達成するために学ぶ「22の道徳的価値」は“4つの視点”に分類整理されている。

＜目標＞

よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため、道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を広い視野から多面的・多角的に考え、人間としての生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。

↑	↑	↑	↑
A 主として自分自身に関すること	B 主として人との関わりに関すること	C 主として集団や社会との関わりに関すること	D 主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること
・善悪の判断、自律 ・正直、誠実 ・節度、節制 ・個人の伸長 など	・親切、思いやり ・感謝 ・礼儀 ・友情、信頼 など	・規則の尊重 ・公正、公平 ・よりよい学校生活 ・国際理解、国際親善 など	・生命の尊さ ・自然愛護 ・感動、畏敬の念 ・よりよく生きる喜び など

4. 評価について

授業における学習状況や道徳性に係る成長の様子を評価する。また、1つ1つの内容項目ごとに、どれくらい理解したかということの評価するものではなく、道徳的価値について多面的・多角的に考えることができるようになったか、道徳的価値を自分自身との関わりで深めようとしていたか、といったことを年間や学期など一定のまとまり（本校では学期ごと）の中で評価する。ただし、数値などによる評価は行わない。

総合的な学習の時間【全学年】

1 学習で目指すこと（到達目標）

探究的な見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、よりよく課題を解決し、自己の生き方を考えていくための資質・能力を身に付けることを目指している。

2 授業に関する注意事項

使用教材	教科書がないのが「総合的な学習の時間」の特色である。学年ごとに必要なものを事前に準備する。	持ち物等	○ファイル ○担当の先生が指示したもの
学習の進め方	学習の進め方は様々だが、基本的には課題を立てるところから学習がスタートする。自ら課題を設定し、主体的に解決していくという課題解決型の学習が行われる。 課題解決までの手順としては、次のように進められる。 ①必要な情報を収集し、蓄積する。 ②蓄積した情報を整理、分析する。 ③考察を加えたり、自分なりの考えをまとめたりする。 ④調べたことや考えたことを仲間と伝え合う。 また、スキー教室、校外学習、修学旅行などの行事の事前学習や事後のまとめなどを行うのも総合的な学習の時間である。仲間と共に協働的に取り組むことが大切である。		

3 授業計画及び評価の観点及び評価方法

月	学習活動	評価規準		評価方法
1年間を通して学習する	第1学年【50時間】 テーマ「将来を見据えて考える」 ①郷土の学習 ②環境をテーマにした学習 ③スキー体験教室を生かした学習 ④キャリア教育（働く人に学ぶ）	知識・技能	課題の解決に必要な知識や技能を身に付けているかどうかで評価する。どんなことを身に付けたかということが通知表に文章で記述される。	・授業の様子 の観察 ・作品の出来や発表の内容
	第2学年【70時間】 テーマ「すべての人を幸せにするために私たちができること」 ①福祉をテーマにした学習 ②キャリア教育（職場体験学習） ③校外学習を生かした学習 ④修学旅行に向けた学習	思考・判断・表現	自分で課題を立て、どのように解決したかで評価する。身に付けた知識や技能をどのように使ったかということが通知表に文章で記述される。	・授業の様子 の観察 ・作品の出来や発表の内容
	第3学年【70時間】 テーマ「より良い世界のために私たちができること」 ①修学旅行を生かした学習 ②キャリア教育（進路選択に向けて） ③国際理解やSDGsをテーマにした学習 ④卒業に向けた学習	主体的に学習に取り組む態度	主体的に学習に取り組むと共に、仲間と協力しながら学習できたかで評価する。どう周りに関わり、どう自分に生かしたかということが通知表に文章で記述される。	・授業の様子 の観察 ・授業の振り返りや自己評価 ・クラスの仲間からの評価